

2021年度から2024年度までの看護学部入学者の選抜試験に関するお知らせ

2019年 1月10日

沖縄県立看護大学 学長 嘉手苺英子

沖縄県立看護大学看護学部にて2021年度から2024年度までに入学する方の選抜試験については下記のように実施いたしますので、お知らせいたします。高等学校の教職員の方々並びに教育関係者の皆様には、生徒や父兄の方々へご周知いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

<本学のアドミッションポリシー>

本学の教育理念と目標の実現に向けて、次のような資質と能力、意欲を持った学生を求めています。

1. 人の生命と健康に関心を持ち、看護職者として社会に貢献したいという意欲を持った方
2. 幅広く学問を学ぶ能力を持ち、主体的に学習する習慣を身につけた方
3. 離島・過疎地域医療を含めた沖縄の看護に関心を持つ方
4. 異なる文化に関心を持ち、国際的な視野で看護を学ぶ意欲を持った方
5. 本学の教育方針に従い、規則を遵守し、学業に専念できる方

<学力の3要素>

本文書中の学力の3要素とは、中央教育審議会による「新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学選抜の一体的改革について（答申）」（高大接続改革答申）での学力の3要素を指します。

1. 基礎的な知識・技能
2. 知識・技能を活用して、自ら課題を発見しその解決に向けて探究し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力（思考力・判断力・表現力）
3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）

<入学定員>

一般選抜による55人と特別選抜による25人の計80人

<選抜試験の時期>

特別選抜 入学前年度の11月（例：2021年度入学者に対しては2020年11月）

一般選抜

前期日程 入学前年度の2月（例：2021年度入学者に対しては2021年2月）

後期日程 入学前年度の3月（例：2021年度入学者に対しては2021年3月）

<選抜方法>

●特別選抜

A・B・Cの3つの枠を設けて行います。なお、3つの枠の間で併願はできません。

特別選抜の概要

	A枠	B枠	C枠
選抜人数	8人	15人程度	2人程度
出願資格	次の2条件を満たす者 ・県内のへき地等級を付されている中学校を卒業した者で、中学校を設置している市町村長の推薦を受けた者 ・県内の高校を受験年度に卒業予定で、高等学校長の推薦を受けた者	・県内の高校を受験年度に卒業予定で、高校長の推薦を受けた者 または ・沖縄県に本籍を持ち、県外の高校を受験年度に卒業予定で、高等学校長の推薦を受けた者	次の2条件を満たす者 ・学士を取得あるいは受験する年度に取得予定の者 ・学術、文化・芸術、スポーツ、社会貢献活動のいずれかにおいて顕著な実績を有する者
主な出願書類	・高校からの調査書 ・本人による実績報告書 ・高等学校長の推薦書 ・卒業した中学校を設置している市町村長の推薦書	・高校からの調査書 ・本人による実績報告書 ・民間英語検定試験の成績 ・高等学校長の推薦書	・学位を証明するもの ・大学の成績証明書 ・本人による実績報告書（顕著な実績を証明するものを添付）

1. 特別選抜A枠

1) 選抜人数 8人

2) 出願資格

次のア～エの条件を全て満たす者としてします。

- ア. 受験する年度あるいは受験する年度の前年度においてへき地等級の付されている県内の中学校の卒業生。へき地等級が付されている中学校については県教育委員会のホームページなどでご確認ください。
- イ. 受験する年度に沖縄県内の高等学校を卒業見込みの者で、在学する学校長の推薦を受けた者。1学校あたり1人（離島の高等学校は2人まで）推薦が可能です。
- ウ. 卒業した中学校を設置している市町村の長の推薦を受けた者。1市町村あたり2人まで推薦が可能です。
- エ. 合格した際は入学することを確約でき、本学が実施する入学前と入学後の特別教育プログラムを受講することを承諾できる者。

3) 選抜の基準

- ・本学のアドミッションポリシーに適合すること。特に、離島・へき地で暮らす人々、その生活や医療に関心を持つことを重視します。
- ・高校の成績が優秀であること。

4) 選抜方法

出願資格と選抜基準を満たす者という観点から一次選抜（書類審査）を行って二次選抜の対象者を選び、二次選抜では下記に基づく選抜を行います。

- ・学校調査書及び実績報告書の評価（30点）：学業成績と課外活動について評価します。
- ・面接評価（70点）：アドミッションポリシーへの適合性のほか、学習意欲や看護職者としての将来像などを評価します。

5) 主な出願書類

- ・学校調査書：学校（高等学校）が作成したもの。
- ・実績報告書：課外活動などの実績について本人が作成し学校が確認したもの。
本学で書式を指定します。
- ・自己紹介書：本学へ入学を希望する理由や看護職を志す理由、将来展望などについて、離島・へき地での生活経験に関連づけて説明したもの。面接評価の資料と

します。

- ・卒業見込みの学校の校長からの推薦書：受験者の学力の3要素に関する能力について記載したもの
- ・卒業した中学校を設置している市町村の長からの推薦書：面談に基づいた所感及び当該市町村と被推薦者の現在のつながりについて記載されていることが望まれます。（1市町村あたり2人まで推薦が可能です。）

2. 特別選抜B枠

1) 選抜人数 15人程度（B枠とC枠を合わせて17人）

2) 出願資格

次のア、イの条件を全て満たす者としてします。

- ア. 受験する年度に沖縄県内の高等学校を卒業見込みの者、または沖縄県に本籍を持ち、受験する年度に沖縄県外の高等学校又は中等教育学校を卒業見込みの者で、在学する学校長の推薦を受けた者。1学校あたり2人まで推薦が可能です。
- イ. 合格した際は入学することを確約でき、本学が実施する入学前の特別教育プログラムを受講することを承諾できる者。

3) 選抜の基準

- ・本学のアドミッションポリシーに適合すること。特に、社会貢献への意欲と強いリーダーシップを持つことを重視します。
- ・高校の成績が優秀であること。

4) 選抜方法

出願資格と選抜基準を満たす者という観点から一次選抜（書類審査）を行って二次選抜の対象者を選び、二次選抜では下記に基づく選抜を行います。

- ・学校調査書及び実績報告書の評価（30点）：学業成績と課外活動について評価します。
- ・英語試験（30点）：「大学入試英語成績提供システム」に参加している民間団体が実施する英語検定試験の結果を評価します。「大学入学共通テスト」実施方針に従い、「大学入試英語成績提供システム」により得られる試験結果を利用する予定です。

注）CEFR(Common European Framework of Reference for Languages)を評価に用います。試験結果としてCEFRが得られるよう、自分の能力にあった検定試験を受験してください。

- ・面接評価（40点）：アドミッションポリシーへの適合性のほか、社会貢献に対する展望、リーダーシップなどを評価します。

5) 主な出願書類

- ・学校調査書：学校が作成したもの。
- ・実績報告書：課外活動などの実績について本人が作成し学校が確認したもの。
本学で書式を指定します。
- ・自己紹介書：本学へ入学を希望する理由や看護職を志す理由、社会貢献についての将来展望などを説明したもの。面接評価の資料とします。
- ・卒業見込みの学校長からの推薦書：受験者の学力の3要素に関する能力について記載したもの。
- ・「大学入試英語成績提供システム」に参加している民間団体が実施する英語検定試験の結果は「大学入試英語成績提供システム」を利用して入手する予定ですが、システムにより入手できない場合は成績表、合格証書などを提出していただきます。

3. 特別選抜C枠

1) 選抜人数 2人程度（B枠とC枠を合わせて17人。該当者がいない場合は合格者は出さず、B枠で17人を選抜します。）

2) 出願資格

次のア～ウの条件を全て満たす者としします。

- ア. 受験する年度以前に4年制の大学（医学・歯学・薬学については6年制の大学）を卒業して学士を取得した者、または、受験する年度に学士を取得する見込みのした者。
- イ. 学術、文化・芸術、スポーツ、社会貢献活動のいずれかにおいて顕著な実績を有する者。
- ウ. 合格した際は入学することを確約できる者。

3) 選抜の基準

- ・本学のアドミッションポリシーに適合すること。特に、何らかの顕著な実績があり、これを活かして看護分野に新しい価値観や革新的な発想を導入できる可能性を持つ人材であることを求めます。したがって、創造性、リーダーシップ、国際性、社会貢献に対する意欲などを重視します。

4) 選抜方法

出願資格と選抜基準を満たす者という観点から一次選抜（書類審査）を行って二次選抜の対象者を選び、二次選抜では下記に基づく選抜を行います。

- ・書類による実績評価（70点）
実績についての報告書、看護分野への貢献などを記載した自己推薦書、学士を授与された大学の成績証明書、について評価します。
- ・面接評価（30点）
実績や看護職観、将来展望などについてプレゼンテーションおよび質疑応答を行い、説明能力や発信力、コミュニケーション能力などを評価します。

5) 主な出願書類

- ・実績報告書：実績について説明し、これが確認できる公的な文書あるいはそれに準ずる文書を付したもの。
- ・自己推薦書：自身の長所や看護分野での有用性、卒業後の計画など、看護分野への貢献について記載したもの。
- ・学位及び大学での成績を証明する文書
- ・人物について照会可能な方2人の関係と連絡先

●一般選抜

1) 選抜人数 前期日程 50人、後期日程 5人

2) 出願資格

次のア～ウの条件を全て満たす者としします。

- ア. 下記のいずれかに該当する者
 - ・高等学校又は中等教育学校を卒業した者あるいは受験する年度に卒業見込みの者
 - ・通常の課程による12年の学校教育を修了した者あるいは受験する年度に修了見込みの者
 - ・その他（各年度の初頭に公表する「入学者選抜実施要項」でお知らせします）
- イ. 受験する年度の「大学入学共通テスト」において、本学が選抜に利用する教科・科目を受験した者
- ウ. 民間団体が実施する英語検定試験にてCEFRのA2以上に相当する得点を得ている者。「大学入学共通テスト」実施方針に従い、「大学入試英語成績提供システム」により得られる試験結果を利用します。
注) 試験結果としてA2以上のCEFRが得られるよう、自分の能力にあった検定試験を受験してください。

3) 選抜の基準

- ・本学のアドミッションポリシーに適合し、看護職者として活躍できる十分な資質を持つ者を選抜します。

4) 選抜方法

「大学入学共通テスト」の結果に基づいて一次選抜を行って二次選抜の対象者を選び、本学が実施する試験での二次選抜を行います。

A. 一次選抜：「大学入学共通テスト」の利用教科・科目・配点は以下のとおりです。

教科名	科目名	配点	備考
国語	『国語』	250点	・マークシート試験 200点 ・記述試験 50点（センターが示す段階に応じて配点） に換算し総点 250点
外国語（英語）	「大学入学共通テスト」の『英語』	250点	・リーディング試験 200点 ・リスニング試験 50点 とし総点 250点とする。
地理歴史・公民	全科目の中から1科目受験	100点	全科目の中から1科目受験
数学	・「数学Ⅰ」 または、 ・『数学Ⅰ・数学A』	200点	記述式問題を含めて総点を100点に換算し、これをさらに200点に換算する。
理科	・「生物」1科目 または ・「生物基礎」（必須） 及び 「物理基礎」「化学基礎」「地学基礎」から1科目選択	200点	・「生物」は100点を配点 または ・「生物基礎」と選択1科目についてはそれぞれ50点を配点 その総点100点をさらに200点に換算する。
<p>・本学が利用する教科・科目や利用方法については、全国の実施状況を参考に、2022年度以降の入学試験から変更する場合があります。</p>			

B. 二次選抜：本学が実施する選抜試験の結果に基づいて選抜を行います。選抜試験の内容と配点は以下のとおりです。

	評価方法	配点	総合点	評価内容
前期日程	学力試験	250点	1000点	学力の3要素の中の主に思考力、表現力、主体性、協働性について評価する。 本学看護学生としての適性について評価する。
	実績評価（学校調査書・実績報告書）	250点		
	個別面接	500点		
後期日程	実績評価（学校調査書・実績報告書）	500点	1000点	学力の3要素の中の主に主体性、協働性について評価する。 本学看護学生としての適性について評価する。
	個別面接	500点		

・学力試験

学力の3要素の中の主に思考力、表現力、主体性、協働性について評価する試験を行います。複数の受験者から成るグループ単位での討論やプレゼンテーション、小論文などの筆記試験を予定しています。具体的な試験方法については、各年度の初頭に公表する「入学者選抜実施要項」にてお知らせします。

・実績評価

学校調査書では成績と出席状況について評価します。実績報告書では学業以外の活動

について評価します。

- ・個別面接

コミュニケーション能力や学ぶ意欲など、看護職者になるために本学の学生として勉学を行っていく上での適性について評価します。

5) 主な出願書類

- ・学校調査書：学校が作成したもの。
- ・実績報告書：課外活動などの実績について本人が作成し学校が確認したもの。
本学で書式を指定します。